

あおい通信 第75号

東京江戸散歩

その三十三 本郷周辺 ④

↓ 今も残る「木造3階建て下宿」の本郷館（現アパート）



写真・文 七海邦夫

旧蓋平館（現太平館）。赤心館の下宿が払えなかつた二十二歳の啄木は、明治四十一年（一九〇五）九月、盛岡中学の先輩、金田一京助の手助けで此処に移り住んだ。

新坂近くの三階三畳の部屋であったが、「富士が見える！富士が見える！」と喜んだという。啄木はここで「島影」を書き、それが毎日新聞に連載された。又、芸芸雑誌「スバル」の発行名義人となり、北原白秋、木下左太郎らと深くかかわった。

翌年、朝日新聞社に入社し校正係の定職を得て、念願の家族を「喜之床」に迎えて共に住んだ。現在旧家屋は昭和五三年に解体され、明治村に移築されている。同所前に

といえ真つ暗な川岸で川風に当たるだけで無く、茶屋、見世物、夜店が無ければ望みにならない。花火は涼を求める江戸っ子たちの足を照らす照明でもあった。

「一両で花火間もなき光かな」芭蕉の弟子の宝井其角の句にあるように、花火は一発一両、武家奉公人の最低賃金は一年で三両一分、俗にサンピン、町方も変わらなかつた時に一両と言う大金の花火が絶え間なく打ち上げられる江戸の夏の夜空は豪華な涼しさであった。（なあさん）

「東海の小島の磯の白砂に我泣きぬれて蟹とたわむる」の碑が立つ。今に残る本郷館。明治二十八年（一九〇五）の建築、現世に異様なばかりの木造三階建てである。藩主本多家の敷地であった。明治時代になると周辺には下宿屋が立ち並び、石川啄木の蓋平館（現太平館）を含め、下宿屋には多くの文人が住んでいた。本郷館は一四二二平方メートルと言う大規模なもので、本郷きつての高等下宿であった。現在でもアパートとして健在、往時を偲ぶにはまたとない建物であり、周辺の風景からも往時を偲べ

る。下級武士の菊づくり菊

坂。本郷通りから西片方面に下がる坂を菊坂という。名前の由来は本郷一帯が町屋になった長祿年間（一四五七～一四六〇）に、この辺り一帯が菊畑であった為という。それで菊坂の名が付き、坂上を菊坂台町、坂下を菊坂下と呼んだ。

菊造りは幕末になると、貧窮する武士や浪人の生計の足しとなつたらしい。この菊坂一帯は一葉や啄木、更に菊富士ホテルに滞在した文人など文学に志した人々が数多く住んだ場所としても有名である。

樋口一葉、菊坂の家。鑑坂から菊坂にかけては、あたかも明治時代にタイムスリップしたようなひっそりした佇まいの家が

幕末に南町奉行八丁堀同心であった父樋口則義は、明治になって事業を始めたが失敗し病没した。その翌年の明治二十三年（一八九〇）、母たき、妹くのに三人の女所帯でこの地の借家に引越した。

一葉十八歳の初秋であった。一葉は一家の戸主として、他人の洗濯や針仕事を引き受けて生計を立てたが、生活は貧窮をきわめた。近所の質屋「伊勢屋」のノレンをよくくぐった。こうした中で中島歌子の萩の会へ参加し、半井桃水に弟子入りし、短編「闇桜」を発表し作家を目指した。伊勢屋は万延元年（一八六〇）の創立で土蔵は一葉当時のままである。

（続く）

世評・時評

東日本大地震後には各地の花火大会が（自粛で）中止を決定した。しかし、東京の隅田川花火大会が例年のほぼ一ヶ月遅れながら八月二十七日に開催されることが決まると自粛を撤回する大会も出てくるようになった。

夜間航行禁止令を解除するという法的措置がとられた。川開きにあたって、八代將軍吉宗の命で両国橋を中心に前年の諸国の飢饉と疫病の死者の冥福を祈る施餓鬼と水神祭を挙行したのち、花火が連日あげられた。この花火が墨田川花火大会の前身なのだが、実は慰霊は表向きの理由で、川開きの大きな役割は、経済活動を夜間に移す、今でいう「サマータイム」だった。大都市江戸の夏場は昔も今も酷暑だ。電力ゼロの当時は、都心の涼しさは夜の両国橋の水辺の川風が唯一のものだった。

あおい俳壇

競いあう 葉づれの響き 蟬時雨

吉野波な

池の面に ふれむばかりや 夏柳

泉貞子

翡翠（かわせみ）の 杭を囲みて カメラの輪

橋本廣子

七夕や 小さな願ひを 短冊に

橋本廣子

朝露に 光る茄子の 濃むらさき

橋本廣子

葉隠れに 枝もたわわに 枇杷実る

橋本廣子

笹の葉に 短冊揺るる 天の川

橋本廣子

あじさるの 娘となりぬ 紅をさし

富寿郎

ほうたるや いづこの 闇より 湧きい出し

富寿郎

笑み注ぐ 先ずは老女の 花衣

吉富多壽男



↑ 菊坂の家」の跡地

広がっている。鑑坂近く、昔懐かしい手押しポンプが残る路地に、一葉が住んだ菊坂の家がある。

◆編集委員会より

「あおい通信」は、皆様からの原稿を募集しています。担当飯島迄お申し出ください。

利用者の紹介コーナー

山本 幸雄 (日)

二十二年九月から日曜日に世話話になっていきます。スタッフの皆さんが良く、毎回楽しく過ごさせて頂いております。今後とも宜しくお願いします。



池田 マス (日)

葵に通所。明るい皆さんの声に、心配していた私の心も和んだ。新しくできた絆を大切に楽しく過ごしたいと思う。



寛司 静一 (日)

一九三六年鹿児島県に生まれる。一九五九年に上京して、電設工事に従事して現在に至る。



小林 ミエ (日)

家族と共に十国峠に感動した帰り、足元の恐ろしい階段に一足毎に足を運び乍ら気持よい正月の

小さな出来事に大きな満足でした。



木村 史子 (日)

二十数年フラダンスの講師をしています。去年体調をくずしましたが、リハビリすることで良くなり感謝しています。



内田 隆三 (日)

今年で満八十八歳になります。皆さんと体操できることを楽しく思っています。これからも健康維持のために続けます。



佐々木 升 (水)

八十六歳になりました。近頃は人助けが趣味です。何か拾ってあげたり、捨ててあげたりします。しかし人は変な顔をします。他人に手助けをしてもらうことが好きでないようです。



土のお話

民芸風土記

吉富 多寿男

私達が住んでいる土地は、そこにしかない個性をもっています。北は北海道から南は沖縄まで途方もなく広がっています。この小さな国土でも、そしてこの日本の多くの場所、焼き物が作られています。

すぐ近くには益子焼、笠間焼、会津本郷焼等の他、日本八古窯等も現在でも多くの焼き物を産出しています。その多彩さには驚くべきものがあります。多彩さの根本には作品に使われる土、釉薬、焼成する窯(薪窯、登り窯、穴窯、ガス窯、電気窯、焼成方法、酸化還元

焼成温度等々によつて異ってくるのです。それら各地の焼物を研究している場所として東京駒場の日本民芸会館があり、かの柳田國男氏が推進した民芸運動のメッカとなつていきます。ここでは年一回各地の作品を集め選別して展示即売会を催しています。(今年は十二月一〇日の予定)その初日には結構好事家の行列が出来、一人一点の制限のあるものには整理券を貰つてお目当ての作品の前でツバをつけて係りの人を待つのです。

私が一人一点限りで手に入れた福岡の小鹿田(オンタ)焼は小物で手頃な価格ですが、その刷毛目、飛び鉋(カンナ)の美しい模様の釉(ユウ)が施されています。実はこの

雑学

絹田 治夫

新聞にちよつと面白い記事が載っていました。

- 一、還暦「カンレキ」六十歳、十二支の組み合わせがひとまわり(本返り)し、この本返りを五回繰り返す(かえ)す事から。この頃の年齢から人体には微妙な変化が始める為、注意を喚起させる意味合いもあるらしい。
- 二、古希「コキ」七十歳、唐の詩人杜甫の詩「人生七十古希なり」にちなんで。
- 三、喜寿「キジユ」七十七歳、喜の草体が七十七と読まれる事から。
- 四、傘寿「サンジュ」傘の略字が八十と読める事から。
- 五、米寿「ベイジュ」八十八歳、米の字が八十八に分解できる事から。
- 六、卒寿「ソツジュ」九十歳、卒の通用具体字が九十と読まれる事から。
- 七、白寿「ハクジュ」九十九歳、百の字から一を引くと白になる事から。
- 八、茶寿「チャジュ」百八歳、茶の字の草冠を二十、その下の部分を米という字に見たてて八十

小鹿田焼の存在を知ったのはNYのユダヤ人から教わったものであります。また鹿児島島の川内(センダイ)の河原史郎氏が作った井はどつしりした形と落ち着いた釉彩でこれを使つて食べる麺類は一段と良い風味を感じさせられます。

この様に民芸を通じ陶芸に魅せられたのですがその為に土探しから始めました。福島の常磐炭鉱跡、笠間、益子、美濃の土岐、常滑(トコナメ)、信楽(シガラキ)の陶芸村の近く或いは伊豆の吉奈踊子街道わさび田近辺西伊豆、下田近辺の土等々で、そちこちに向いては土採りに励みました。何しろリーダーは小学校の工作の先生、故芳村俊一氏で、春夏秋冬の休みに「ここ掘れワンワン」と建設工事の深い穴

校外の道路の切通しで断面の露出して切る地層等々を探し求め歩きました。正に土を求めてのお遍路さん宜しく長靴にスコップ、手袋のいでたちでした。

八合わせると、百八になる事から。

- 九、皇寿「コウジュ」百一十一歳、皇の字の白と王を分け九十九をあらわす白に王を分解し、十一を重ねたすと百一十一になる事から。
- 恥ずかしながら私は半分ぐらいしか分からなかったです(笑)

これらの原土を水簸(スイヒ)精製し10×2cmの板状にしたものを1250度で試し焼をします。このテストピースがしっかりと耐えられればBody(胎土(タイト))に、溶けてしまふなら釉薬に、或いは低焼の窯で胎土として使用します。

当地、練馬は鉄分の多い関東ローム層で耐焼が低く益子の様にはいきませんが板橋の下赤塚で採った土で薪窯で焼いたら、縄文風の良い風合いの壺が出来ました。土さまざま、人さまざまと、その利用法を工夫するのです。



正に子育てに似た難しさと楽しさがあります。日本の政治家についても試し焼が出来れば、こんなにもひどい事にはならなかったのではと愚考します。

Question 伊万里と九谷の違いは解りますか?

グルメの日
十八日(月) ゆめりあ「梅の花」にて19名の参加でした。

8月度行事の予定

17日(水)「ベイブ」にて。先着12名にて行います。尚、今回は送迎がありません

カラオケ
19日(金)新会場「カラオケボックス・パンバン」にて。会場は、掲示版の地図を参照してください。

10月度ハワイ旅行
早いもので、十月一日のハワイ出発まで二か月となりました。皆さん、体調管理を宜しく願います。(事務局長)

自画像

介護職 村上 昌



大阪育ちですが、結婚と共に上京して二十五年、南大泉に住んで十九年になります。休みの日は、家事の合間に太極拳やスポーツジムに通い、ダイエツトに励んでいます。以前に習ったまま中断している書を再開するのが目標。一男一女がいます。